

適性検査 1

検査時間 9：15～10：00
(45分間)

[注 意]

- 1 「始めなさい。」と言われてから、開いてください。
- 2 「始めなさい。」と言われたら、「記入用紙」の「受検番号」欄らんに、受検番号を書いてから、始めてください。
- 3 となりの人と話したり、用具の貸し借りをしたりしないでください。
- 4 ひとりごとを言ったり、わき見をしたりしないでください。
- 5 見にくいところがあったり、ページがとんでいたりしたら、だまって手をあげてください。
- 6 鉛筆えんぴつや消しゴムを落としたときは、だまって手をあげてください。
- 7 「やめなさい。」と言われたら、筆記用具を置き、指示にしたがってください。

【適性検査1】 あなたの考えは、「記入用紙」に書きましょう。

1 高志小学校の6年1組の国語の時間です。図書室でいろいろな詩を読んで、自分の好きな詩を選び、その魅力とともに、グループの仲間に紹介する学習をしています。

たかしさんは、大木実さんの「前へ」という詩が心に残り、これを紹介しようと考えています。大木実さんや、この詩について調べていたら、詩人の川崎洋さんの『ひととき詩をどうぞ』という本に、大木さんの「前へ」が取り上げられているのを見つけました。それを読むと、よく分からないところがあったので、同じグループの春子さんに相談しています。二人の会話文と別紙の【資料】を読み、問1～問3に答えなさい。

たかし：僕はこの詩を読んだときに、がんばろうって気持ちになれるの
がいいなあと思ったよ。川崎さんの文章を読んでいると、その理由が少し分かったような気がするんだけど、うまくまとめられないんだ。

春子：たかしさんは、川崎さんの文章のどこにその理由が書いてあると感じたのかな。

たかし：「①

」とい

うところかな。

春子：そうね。でも、「」ってどういう思いのことかな。

たかし：僕は最後の3行のところだと思うよ。

春子：私は「

」というところ

にも共感するよ。

たかし：たしかにそうだね。「

」。この部分がうまく自分の言葉にできると、この詩の魅力^{みりよく}を伝えることができそうだな。

問 1 ^{ぼうせんぶ}傍線部①「
」を 40 字以内でまとめなさい。

問 2 「
」という川崎洋^{ひろし}さ
んの言葉を手がかりに、この詩の魅力^{みりよく}について 60 字以内でまとめ
なさい。

問 3 川崎洋^{ひろし}さんが、この文章の中で、「前へ」という詩の魅力^{みりよく}を読者
に分かりやすく伝えるために工夫していることを 2 つあげなさい。
それぞれ、10 字以上 20 字以内でまとめなさい。

※著作権の都合上、別紙の【資料】及び問題文の一部を掲載し
ておりません。

2 高川小学校の環境委員長の麻子さんと副委員長の太郎さん、ひろしさんの三人が、次の委員会でどのような活動をするか計画を立てています。その際、災害と水について話が進みました。三人の話を読んで、問1、問2に答えなさい。

麻子：私たちが生まれる前にも、日本では何度も大きな地震が起きていたんだね。1995年に起きた阪神・淡路大震災のとき、水がなくて困ったという話を聞いたよ。

太郎：そうだね。避難所にかぎらず、飲み水はもちろんだけど、手やものを洗ったり、トイレで使ったりする水がなくて大変だったという被災者の方の話を聞いたことがあるな。

ひろし：去年台風で、停電と断水があった時は、僕の家もトイレが使えなくて不便だったよ。僕の家は、幸い浴槽に水があったからそれを使うことができたけれど、浴槽の水がなかったらと思うとぞっとするよ。

麻子：そうね。失うと分かることってあるよね。それはそうと、私たちは1日でどれくらいの水を使うのかな。

太郎：日本人1人が1日に使う水の量は300リットル位だって聞いたことがあるよ。

麻子：そんなに使っているのね。私たちは、普段から不自由なく水を使っているけれど、世界中には水不足で困っている地域がたくさんあるそうだよ。この【写真】を見て。これは、生活で使う水をくみに行く女の子の写真なんだって。

【写真】



Think Daily ホームページ
(<http://www.thinktheearth.net/jp/>)より

ひろし：この女の子はどれくらいの水を背負っているんだろう。

麻子：このタンクには20リットル位の水が入るそうだから、とても重いと思うよ。これを往復6時間かけて運ぶんだって。そのため、学校へ行って勉強する時間がないそうだよ。

ひろし：世界には、安全な水が簡単には手に入らないので、水をくむために学校に行けない子どもがいるんだね。

太郎：そういえば、前にテレビで、開発途上国の子どもたちに対して様々な支援が行われているって言ってたよ。僕たちにもきっと協力できることがあるはずだよ。

ひろし：そうだね。それを全校の活動にできないかな。

麻子：いいね。でも、水の確保に苦しむ子どもがいるってことを知っている人は少ないと思う。まずは全校のみんなにこの事実を知ってもらわないと。

ひろし：ただ事実を伝えるだけだと、活動に参加しようとは思ってもらえないよね。みんなに興味をもってもらい、「協力したい」と思わせる工夫が必要だと思うな。

太郎：それに、学年によっても伝え方は変えた方がよさそうだよね。高学年のみんなは、データやグラフを見れば内容を理解してくれると思うけれど、低学年には少し難しいと思うな。興味をもってもらうことも大切だけれど、情報を正確に伝えるのも大切だよ。

麻子：明日の環境委員会で、どのように伝えれば、全校のみんなからも活動に協力してもらえるか、委員からアイデアを募集してみましよう。

問1 三人の話合いの中で話題となっている水に関する問題において、解決しなければならない課題はどのようなことですか。箇条書きで2つ書きなさい。

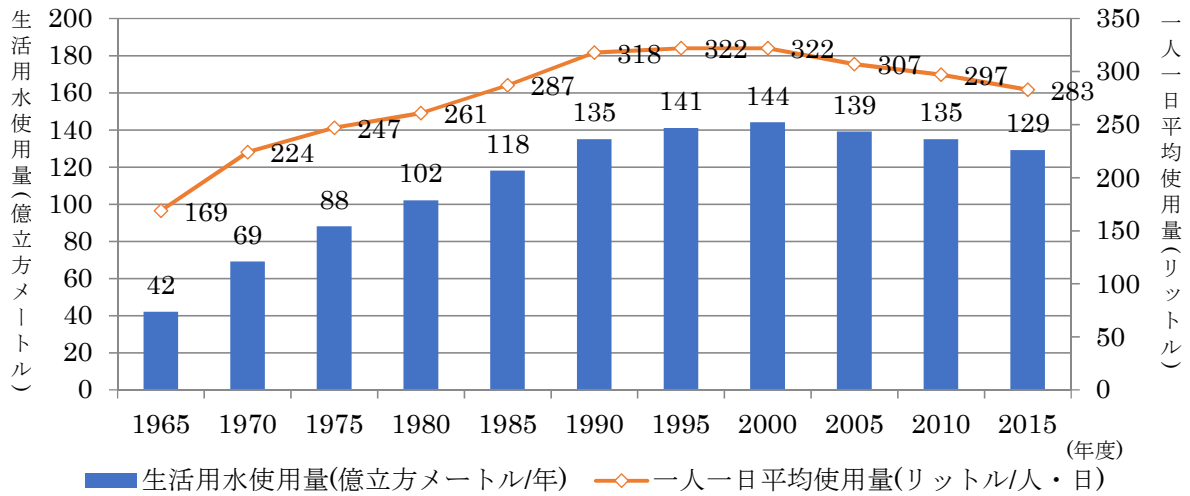
問2 環境委員会では、開発途上国の子どもたちへ支援活動を行うこととなりました。みんなで、【資料1】から【資料6】を集めました。環境委員であるあなたは、低学年に説明する担当となりました。低学年に分かりやすく伝えるには、どのように伝えたらよいですか。次の条件に従って書きなさい。

条件1 【資料1】から【資料6】のうち、1つか2つを選び材料として使うこと。

条件2 環境委員会の話合いの場面で発言しているように書くこと。

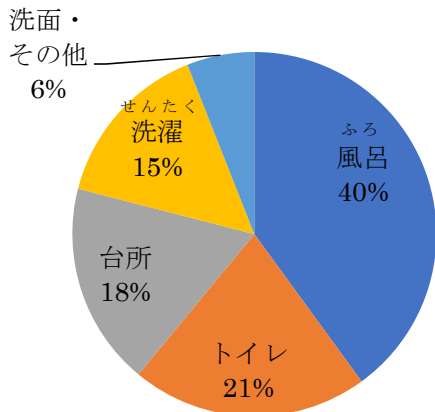
条件3 170字以上200字以内で書くこと。

【資料 1】日本人の生活用水使用量の推移



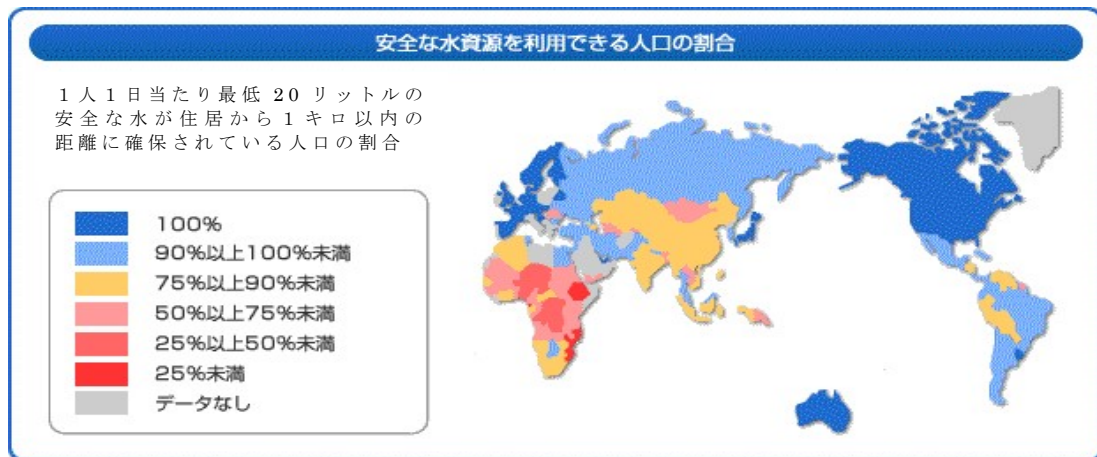
国土交通省ホームページ (<https://www.mlit.go.jp/>) より

【資料 2】東京都の家庭での水の使われ方



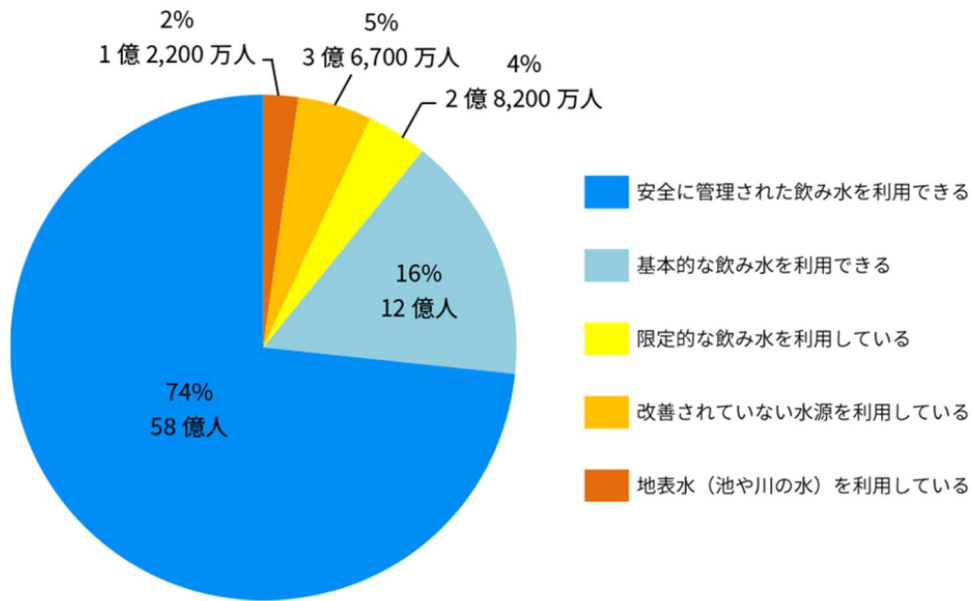
東京都水道局「平成 27 年度一般家庭水使用目的別実態調査」より

【資料 3】安全な水資源を利用できる人口の割合



JICAホームページ (<https://www.jica.go.jp/>) より

【資料4】世界の人々の、飲み水へのアクセス状況



ユニセフ ホームページ (<https://www.unicef.or.jp/>) より

【資料5】一日のほとんどを水くみに費やす

水くみ場と家との距離にもよりますが、一日に8時間以上の水くみを必要とする子どもも存在し、活動できるほとんどの時間を水くみに費やしているのです。水くみに4往復と考えると1往復で2時間以上となり、1kmの往復はおよそ30分程度と換算しても片道4km先の水場まで水くみをしなければいけないこととなります。しかもただ歩くだけでなく、重い水を持って帰ってこなければなりません。それを毎日行わなければいけないのです。夏には炎天下の中でも子どもが行うことから、子どもの体力を考えると過酷な上に危険を伴う作業になります。

子どもが任されているのは水くみだけではなく、幼い兄弟の世話や家事の手伝いなどもあるため、それだけで1日が終わってしまいます。ただでさえ水くみや家事に時間を取られる上に、農村に学校がなく、勉強するために学校まで長い距離を通学しなければいけないという理由で、学校へ行くことができない子も少なくありません。どれだけ本人が勉強したいと望んでも、満足に教育を受ける環境が整っていない場合が多いのが現状です。

ユニセフ ホームページ (<https://www.unicef.or.jp/>)

および gooddo マガジン (<https://gooddo.jp/magazine/>) より

【資料6】 清潔な水がもたらす希望

清潔な水が手に入るようになることで、子どもたちは、汚れた水でお腹をこわしたり、感染症にかかることがなくなり、健康状態が改善します。石けんで手を洗うだけでも、下痢性疾患になるリスクを40%以上も減らすことができるほか、肺炎などの急性呼吸器感染症や寄生虫、皮膚病や眼の病気にかかる危険性も減らすことができます。



©UNICEF / HQ07-1374 / Pirozzi

そして、家の近くで水が手に入るようになれば、子どもたちは長い道のりを歩く水くみからも開放され、学校に通う時間をつくれるようになります。

清潔な水がたくさんあれば、体を洗うことも、洗濯をすることも、料理をすることも、野菜を育てることもできるようになり、人々の生活を大きく変えることができます。

ユニセフ ホームページ(<https://www.unicef.or.jp/>)より